

大天使ミカエル、その竜との戦い

2026年10月10日（土）、11日（日）11:45-13:00



時代は急速に変化しています。それが良いものになるのか悪しきものになるのか、それは私達一人一人の人間にかかっています。そのような私達を導こうとする大いなる天使がミカエルです。

今回は、ドイツのプリーン集会からツィーシェ司祭を迎え、二日間にわたって皆様とこの問題を考え、交流を深めたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

10日（土）11:45-13:00 「伝説と歴史に見られる新旧ミカエルの姿」

11日（日）11:45-13:00 「現代のミカエルと竜〜ルドルフ・シュタイナーのミカエルの手紙より」

講師からのご挨拶

この度私は三度目に日本を訪問し、東京集会をご訪問いたします。ちょうど4週間にわたるミカエル祭の期間にあたりますので、皆さんと共に竜（ドラゴン）について話し合いたいと思っています。

ルドルフ・シュタイナーは1879年11月に大天使ミカエルが時代霊になったと述べましたが、それはかなり重要な認識でした。この大天使はガブリエルに続いて300年間にわたって時代を指導します。ミカエルは大天使の存在からアルハイ存在の位階に上昇し、「時代霊としての課題」を果たすようになったのです。その時以来私達はミカエルの時代に生きています。

昔の絵や伝説の中では、その多くはヨハネ黙示録12章から靈感を得て、ミカエルと竜との戦いについて語られています。それが単なる古い物語ではなく、現代においても意味を持つのであれば、私達が生きている「ミカエルの時代」と「竜の時代」について語らねばならないでしょう。特に竜の働きが顕著な現代における私達の課題は、ミカエルを忘れないことです。

そこで今回は、日本とヨーロッパでの竜についての物語や絵画を考察し、またルドルフ・シュタイナーが病床で書いた論文集「人智学指導原則」で語っている「竜のモチーフ」について皆様と話し合いたいと思っています。



ファイト・ツィーシェ、プリーン集会司祭

会場：キリスト者共同体東京集会 久が原集会所。

参加費：無料。自由なご寄付を歓迎します。

両日とも 10:30 より人間聖化式が行われます。どなたでも参列できます。

ZOOM によるオンライン聴講、録画視聴をご希望の方は、集会アドレスまでメール、または以下のフォームからお申込みください。申込締切 10月4日（日）、お申し込み後に視聴リンクをお送りします。録画視聴ご希望の方には別途ご連絡いたします。

申込フォーム <https://x.gd/q5Jnl>





10月18日（日） 11:45-13:00

特別講座

キリスト者共同体における葬儀その他 ～死に備える

「霊界への旅立ち～サクラメントと儀式から」 茂木 香
「日本のキリスト者共同体における葬儀その他」 輿石祥三

人は地上に生まれ、やがて死に向かって行きます。誰も死を避けることはできません。生き生きとしたものを感じることは私達に喜びをもたらしてくれます。その対極にある死は、それを奪う脅威とを感じる人もいるでしょう。しかし、命が有限であるからこそ、また、いつか死がやって来るからこそ、私達は今ある生を大切にして目覚めた意識で送ることもできるのです。キリスト者共同体での死との関わり方へ、目を向け共に考えてみませんか？

会場：キリスト者共同体東京集会 久が原集会所。

参加費：無料。自由なご寄付を歓迎します。

両日とも 10:30 より人間聖化式が行われます。どなたでも参列できます。

ZOOM によるオンライン聴講、録画視聴をご希望の方は、集会アドレスまでメール、または以下のフォームからお申込みください。申込締切 10月11日（日）、お申し込み後に視聴リンクをお送りします。録画視聴ご希望の方には別途ご連絡いたします。

申込フォーム <https://x.gd/boCTa>

